



ふふふ♥
いい飲みっぷり
だったぞ♥

あ、ありがと
しゅごめね...

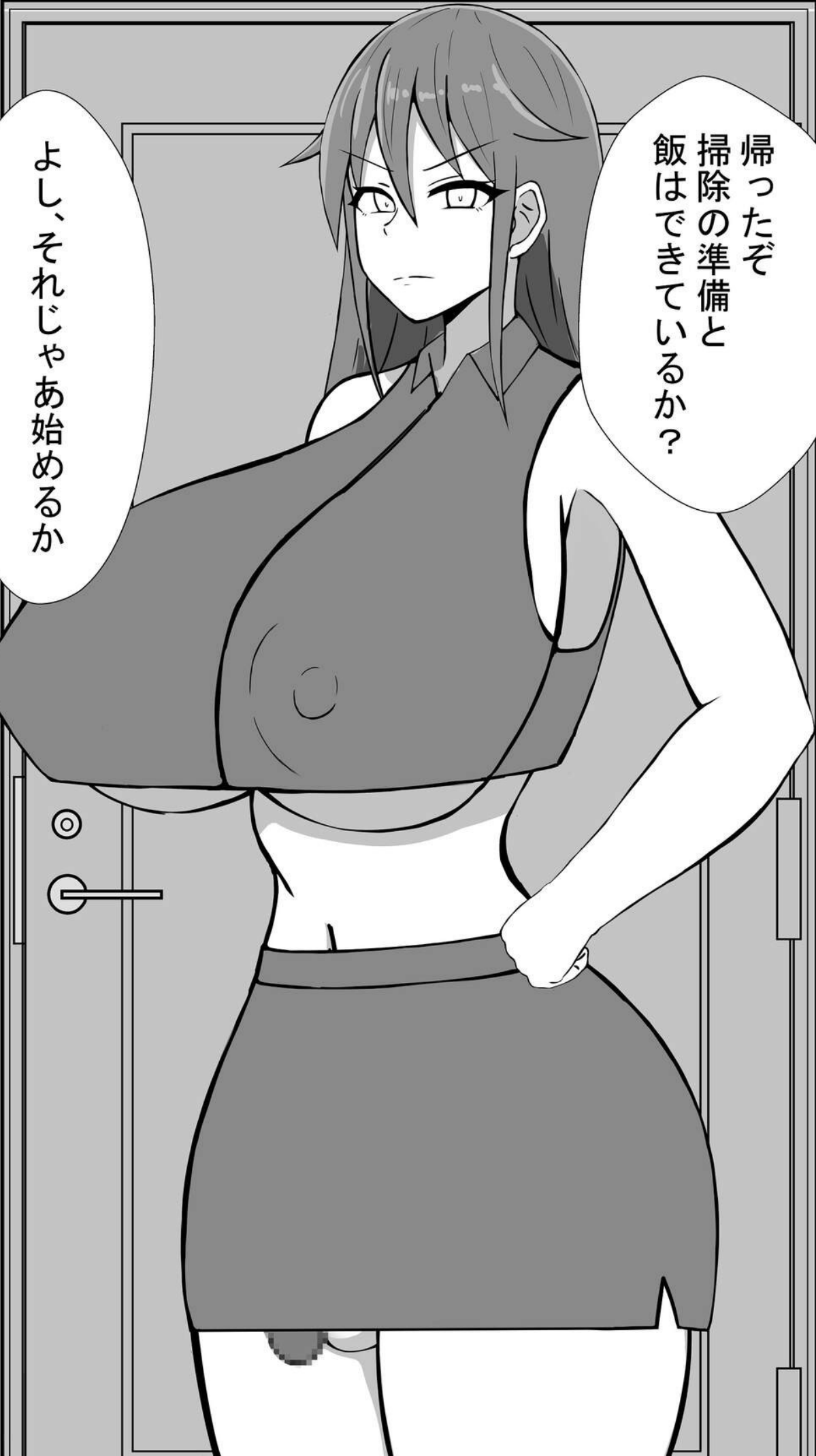
ふたなりお姉さんとの性交



っ
れる

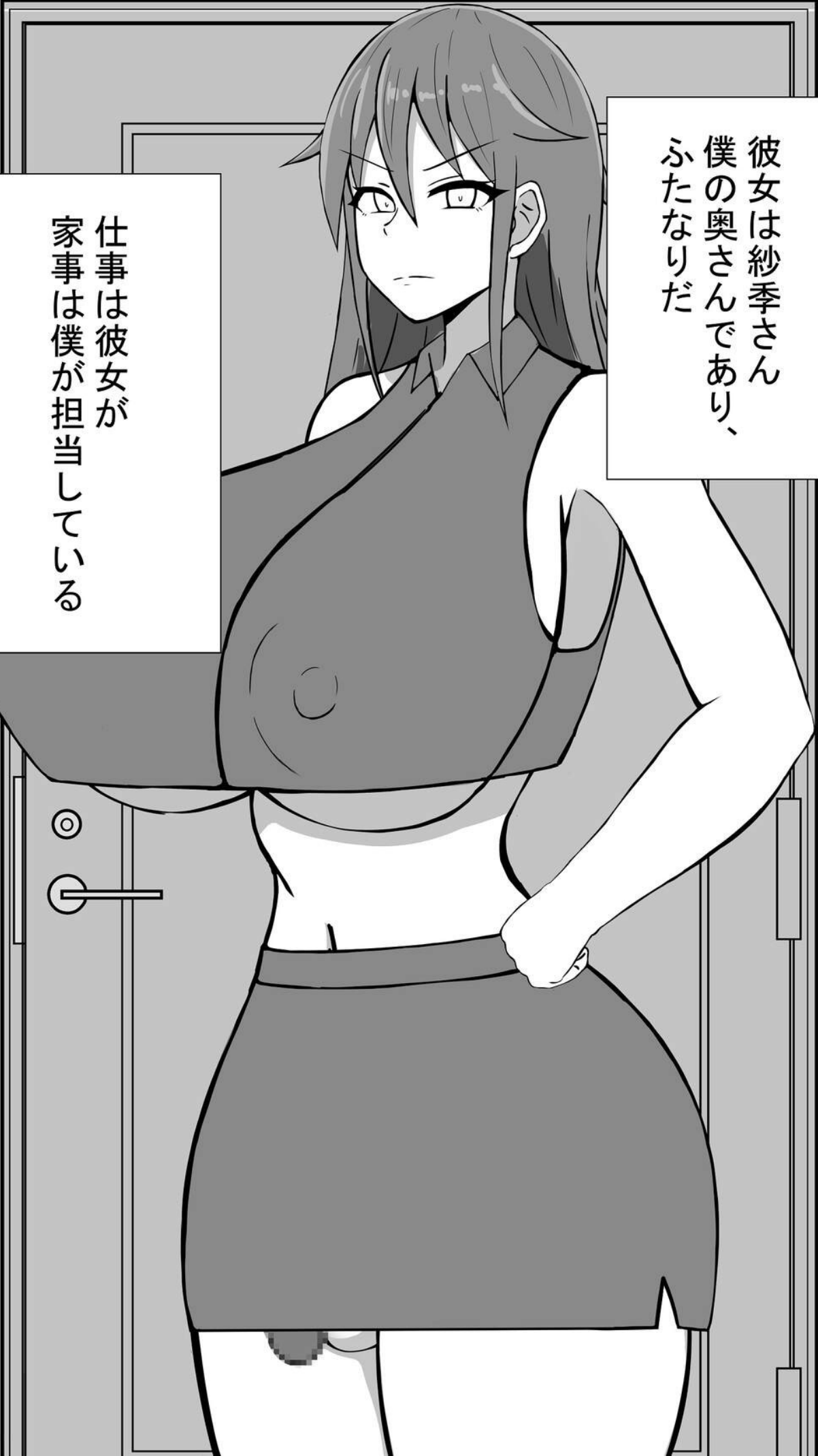
あれだけサーメンを
吐き出したのに、
まだっっっっっっっっっっっ

っ
いた



帰ったぞ
掃除の準備と
飯はできているか？

よし、それじゃあ始めるか



彼女は紗季さん
僕の奥さんであり、
ふたなりだ

仕事は彼女が
家事は僕が担当している

そして、
彼女のおチンポ掃除と
性欲処理も旦那である
僕の担当だ




さあ、とっくと始める

そうやって僕の顔の前に
差し出されたチンポは
鼻が曲がりそうな程の
激臭を放っている

僕の顔より長く、
腕よりも太いチンポは
汗とカウパー汁で
ベトついていた

し、失礼します



しっかりと丁寧
チンポを根本から
先っぽまでしごく

優しく媚びるように

♡ニタニタ♡
♡ニタニタ♡





イカ臭いチンポの先に
口を近づけ、舌を出す

そして、物欲しそうに
涎を亀頭に垂らしたら
フェラの開始だ

歯を立てず
口をすぼめ、口内全体で
扱くように出し入れをする

ニッポ♡

ニッポ♡


あーいいぞ最高だ

自分より弱い男に
ふたなりチンポを
しゃぶらせるのは
堪らんなあ



うっ……！
そろそろ出すぞ！

全て飲み込め！



紗季さんの
ザーメンが
勢いよく
噴き出された

しかし、ここで口を
離してはならない

例え咽ても
鼻から逆流しても
飲み干さなくては
いけないのだ




ふふふ♥
いい飲みっぷり
だったぞ♥

あ、ありがとう
「げんごます」...



紗季さんの
ふたなりチンポが
僕のお尻に当てられる

あれだけザーメンを
吐き出したのに、
もうビンビンだ



こうなると、
また処理を
しなくてはならない

おそらく今度は
アナルを使うことになる

A black and white manga-style illustration. A woman with long, straight hair and large breasts is shown from the chest up, looking down at a man. She has a slight, knowing smile. The man is lying on his back, wearing a dark shirt and shorts, with his hands behind his head. A speech bubble from the woman contains the text: "おい、今からお前のケツをち犯す". Another speech bubble from the man contains the text: "準備はできているよな?".

おい、今から
お前のケツをち犯す

準備は
できているよな？



は、はい
このために
綺麗にして
おきました

よしっ
いくぞ


紗季さんは決して優しく
ゆっくりと挿入なんて
ことはしない

飢えた狼のごとく、
激しく勢いよくその肉棒を
アナルにぶち込んだ

おっ
♡

スポッ





彼女のチンポが
僕の前立腺を
押し潰し、
腹を突き上げた

快樂と共に、
先ほど飲み込んだ
ザーメンがこみ上げて来る

ふふふ♥
どうだ気持ちいいか？

だが、まだ私は
気持ちよくなっていないぞ♥

あ♥

んあ♥

ハッ
ハッ

ハッ
ハッ

ハッ
ハッ



ほらほらあ！
ケツ穴しっかり締めて
ちん媚びしろお！

おチンポで、
もっともっと
突いてください！

ん
♡お♡

ん
♡お♡

ん
♡お♡

ん
♡お♡

いいぞお！
いい締めりだ！

うおっ！
ひだがカリにひかかって！

うっ！
イクウ！
出すぞ！

おっ♡

んおっ♡

パン





ははは
ははは
やっぱりこいつは
最高のオナホだな
♥

ほら、もっとやるぞ♥
今日は寝かさんからな♥
♥

はあ

はあ



おごころ

紗季さんは僕の
体を持ち上げ、
足が閉じれない
ようにした





おっばいに顔が埋もれ、
気持ちよさと息苦しさが襲う

おっばいから
必死に顔を出して
息を吸おうとしているよ...





唐突の出来事に思わず
体の力が抜け…

おっぱいの中に
再び顔が埋もれてしまう

ん？ なんだ？
息が苦しいか？

チンポを気持ちよくすれば
解放してやるぞ♥

ほらっ!
必死こいてケツ穴絞めろお!





頭が真っ白になり
つつあったが

それでも尻穴を締め続けた



うっ
イクウウウウ!!!

出るう!!!


ハッ
ン

ハッ
ン

ハッ
ン

ハッ
ン





しょうがないなあ
少し休憩するか

ふう…気持ちよかった♥
…ってなんだよおい
もう気絶しちまったのか？

気が付くと
今度は紗季さんが
覆いかぶさっていた



気付いたか
よし、再開するぞ

言うや否や紗季さんは
チンポを挿入してきた

ズボッ



僕のお尻はすんなりと
紗季さんのチンポを受け入れた

もうメロメロのようだ



紗季さんもご満悦のようだ

ふふふ♥
すっかり従順な
肉オナホになったな♥

紗季さんは力強く
腰を叩きつけ始めた

そらあ！
動くぞお！

先ほどたっぷりと
注がれた精液が
掻き出されていく



精液で滑りが
よくなったからなのか

今までよりも
早く激しく
チンポが腸内を
行き来している

パンッ




さて、だいぶ汗もかいたし
風呂にでも行くか

は、はい...

風呂



僕たちは、ベッドの上で
散々吐き出した精液と
汗を流すためにお風呂に来た



しっかりと
腋の下もの舐めろ

汗でびっしょり
だからな



紗季さんの体を洗うのも
僕の役目

しっかり汗を
舐めとらないと
恥をかかせてしまう



腋毛の一本一本を口の中で
丁寧舐めしゃぶる

ごわごわとした食感と
しよっぱさが口に広がる

なんだ？
私の腋毛をしゃぶって
チンポおっ立ててんのか？

オラッ
扱いてやるよ！

ガッ

グッ



女性の手とは思えないほど
大きくゴツゴツとした手のひらで
僕のチンポが扱かれ始めた



チンポとザーメン
ぶち込まれるだけでなく

腋毛をしゃぶって
チンポ扱かれるのが
いいとは、ド変態だな

ゴシ

ゴシ



あーくそつ
私もチンポ
硬くなってきたあ！

入れるぞ！

ガバガバになってないかと心配したが、

まだまだいい締めりだ

ホ

コ





イクイクイクツ♥

ああ!
ザー汁上ってきたあああ!



イクイクイクツ♥

ああ!
ザー汁上って来たあああ!

パッパッ
シューッ
パッパッ
パッパッ



ふうー 出した出した
さて、仕事の支度しなきゃな

そういつて紗季さんは
お風呂場に僕を
放置して出ていった

















